

要 望 書

鹿児島県知事 塩田 康一 殿

国道 58 号奄美市住用町城地区の現道拡幅に関する要望書

平素より、奄美市の発展に格別のご高配を賜り、衷心より厚く御礼申し上げます。

さて、本市をはじめ奄美群島におきましては、長きにわたる奄美群島振興開発事業の推進により、生活環境や社会資本の整備など相応の成果を上げてきております。

なかでも、交通基盤の整備は、移動時間の短縮や路線の拡充など、事業効果が顕著に現れており、住民生活の利便性の向上、産業経済の発展に大きく寄与しているところで

す。また、本市住用町内には、「世界自然遺産センター」がオープンし、世界自然遺産登録地における中核的な観光エリアとしての発展が期待されるとともに、奄美大島への観光来訪の大幅な増加が見込まれることから、安全・安心かつ円滑な島内周遊を確保する道路交通網のさらなる充実が求められております。

特に、国道 58 号は、奄美大島の南北を結ぶ基幹道路として、重要な位置づけにあるものの、住用町城(ぐすく)地区の狭隘な道路状況は、未だ解決されない状態となっております。

近年の交通量の増加や車の高速通行により、集落内における人身事故等の発生の危険性も高くなっており、当該城地区住民からは、現状解決のため、道路拡幅事業の早期実施を求める強い要望があがっております。

このような中、地区住民の熱意と協力のおかげもあり、現時点で地権者から大方の同意を得ておりますので、何とぞご賢察いただければ幸甚です。

具体的な内容といたしましては、現国道(58号)の海側への拡幅事業を早期に着工していただき、併せて防砂及び防潮対策の徹底と通学路としての歩道の新設を要望するものです。

本市のみならず奄美大島の他町村の住民も切望する本事業の一刻も早い実現に向けて特段のご高配を賜りますようお願い申し上げます。

令和 6 年 1 月

奄 美 市 議 会